

# 未来への森づくり タウンミーティング

## 開催結果の報告

平成 27 年 6 月

静岡県交通基盤部  
森林局森林計画課

## 1 開催概要

森の力再生事業の事業期間及び森林（もり）づくり県民税の課税期間が終了することから、これまでの事業の成果と荒廃森林の実態などを県民に周知するとともに、今後の事業のあり方について県民に意見や意向を把握するため、タウンミーティングを開催した。

区 分	内 容
期 間	平成 27 年 4 月 22 日(木)～平成 27 年 6 月 9 日(火)
会 場	県内 27 箇所（18 市※、3 町） ※静岡市 4 箇所、浜松市 4 箇所、菊川市中止
実 施 主 体	森林計画課、税務課、各農林事務所、各財務事務所の共催
参 加 人 数	1,077 人（平均 40 人/会場）
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の 9 年間の実績、成果の説明</li> <li>・地域の荒廃森林の現状の把握</li> <li>・今後の事業のあり方について意見聴取</li> <li>・アンケート調査の実施（875 人回答、回収率 81.2%）</li> </ul>

## 2 県民意見等の概要

### （1）主な発言内容

<b>現事業の 評価</b>	<p>間伐の遅れた人工林の整備が進んだ、手つかずの放置竹林が整備され喜ばれている等の意見が多数あった。</p> <p>一方で、県民に対する広報に力を入れる必要があるとの意見も多数あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の森林整備の主要な事業に成長した。</li> <li>・下流に住んでいる者として、上流の森林整備が進むことをありがたく思う。</li> <li>・通学路沿いの竹林が整備され、安心できるようになった。</li> <li>・森林所有者や地域住民が森林に関心を持つようになった。</li> <li>・いい事業なので、もっと広報に力を入れる必要がある。</li> <li>・事業の用途や施策の中での位置付けをしっかりと説明することで、もっと評価が高まり、理解も得られる。</li> </ul>
<b>荒廃森林の 現状と今後 の事業のあ り方</b>	<p>全ての会場において、荒廃森林が依然として多いことから事業継続を希望する切実な意見や、継続を前提とした事業内容に対する要望が多く寄せられた。</p> <p>また、水源涵養機能や山地災害防止機能の回復を図るとともに、生物多様性保全など環境に配慮した森林整備にも取り組むべきとする意見もあった。</p> <p>荒廃森林の再生に引き続き取り組むことについて反対する意見はなかった。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依然として荒廃森林が多いので、継続を希望する。</li> <li>・世界遺産登録の富士山に恥じない森林整備が必要である。</li> <li>・貴重な植物の保護などにもきめ細かく配慮した整備や管理をお願いしたい。</li> <li>・広大な人工林の整備は9年間では限られている。整備が必要な箇所はまだある。</li> <li>・事業がようやく浸透してきて、成果も出ている。ここで止めては水泡に帰してしまう。</li> <li>・事業がなくなると、この地区の森林整備は進まなくなってしまう。</li> <li>・集中豪雨や台風が増えているので、この事業に期待している。</li> <li>・台風等により河川沿いの倒木や竹が流出するおそれがあり、対策が必要である。</li> <li>・竹林が拡大し、農地や健全な森林を飲み込むほどの勢いである。</li> <li>・放置された竹林から土砂が道路に流出した。</li> <li>・道路沿いや住宅の裏山では広葉樹も大きくなり、危険も高まっている。予算を拡大して積極的に整備してほしい。</li> <li>・小中学校や幼稚園の周囲の竹林が荒廃している。森林だけでなく子どもにも光を当ててほしい。</li> <li>・以前は見られなかったシカ食害が深刻化している。</li> <li>・雪害がひどく、どうやって手をつけていいかわからない。</li> </ul> <p>また、事業により伐採した木材や竹材の利活用を期待する意見や、他の関連施策との連携により波及効果を高める必要があるとの意見もあった。</p>
その他	<p>森林・林業施策全般に対する課題として、所有界がわからなくなっている所有者が増えている点を問題視する発言も多かった。</p>

## (2) 会場アンケート結果

設問	回答
現事業の評価	「大いに評価できる」、「評価できる」…92.9%(813人) 「どちらとも言えない」…3.8%(33人) 「あまり評価出来ない」「評価出来ない」…3.3%(29人)
税負担	「理解できる」…90.2%(783人) 「理解するが負担大きい」…4.1%(36人) 「負担を求めるべきではない」…1.4%(12人)
荒廃森林の顕在化について	「問題として認識」…90.1%(840人) 「聞いたことがある」…7.9%(68人) 「重要な問題とは考えられない」、「わからない」…2.0%(17人)
今後の事業のあり方	「県が引き続き荒廃森林の再生に取り組むべき」…94%(790人) ・所有者自身に取り組むべき…3.5%(29人)

【各会場における主な意見・要望・提案】

会場名 (市町名)	参加 人数 (発言者)	内 容
下田総合 庁舎 (下田市)	86 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を通じて地域住民が森林に関心を持つようになった。</li> <li>・イノシシやシカなどの獣害対策が重要である。自然林に戻すことで野生生物の棲家を奥地へ作るべき。</li> <li>・自分の山林の場所や境界が分からない所有者ばかりである。</li> <li>・賀茂地域は人工林だけでなく、人家裏の大径化した広葉樹や、放置竹林の整備が必要。</li> <li>・伐採した広葉樹や竹の活用にも取り組むべき。</li> </ul>
松崎町環 境改善セ ンター (松崎町)	49 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相続で引き継いだ整備が出来なかった山がきれいになった。</li> <li>・間伐で明るくなり、周囲からも要望の声が上がっている。</li> <li>・山林の境界が分からない所有者ばかりで事業が進みにくい。</li> <li>・もっと事業のPR活動をするべきだ。今回のTMのような一般県民が参加できる機会を増やしてほしい。</li> <li>・次代の林業従事者を志す若者の育成を推進するべき。</li> </ul>
東部総合 庁舎(沼津 市)	40 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちでは危険で整備できないところを施工してもらってとても助かっている。</li> <li>・地元に住んでいても事業で整備した箇所が分からないので、PRしてもらいたい。</li> <li>・伐採した木材や竹材の利活用を考えてもらいたい。</li> <li>・所有者不明の荒廃森林や竹林の整備を行政代執行できないか。</li> <li>・10年目にして、やっと事業が浸透してきたので継続するべき。</li> </ul>
北上文化 プラザ北 上公民館 (三島市)	31 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路沿いなどの放置竹林が目立つ。事業継続を要望する。</li> <li>・竹林整備の予算をもっと増やしてもらいたい。</li> <li>・行政が主体となり計画的に森林整備を進めるべき。</li> <li>・県民税は均等割りではなく所得に応じた額にするべき。</li> <li>・他事業とも連携して整備を進めてもらいたい。</li> </ul>
伊東市役 所 (伊東市)	30 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を通じて、地域住民が森林に関心を持つようになった。</li> <li>・県民から見えるところの整備をしながらPRしたらどうか。</li> <li>・整備箇所周辺の維持管理なども検討してもらいたい。</li> <li>・技術的にも予算的にも自力で管理することが困難なため、事業を活用して整備していきたい。</li> <li>・安全な生活を守るためにこの事業は重要であるため、継続するべき。</li> <li>・シカによる食害が増えており、そのまま放置すると植生の多様性が失われる。</li> </ul>
御殿場市 役所 (御殿場 市)	48 (12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般県民へのPR活動不足を感じる。</li> <li>・自分の山林の境界を知らない人がほとんどで整備が進まない。</li> <li>・まだまだ荒れているところが残っており、継続を希望する。</li> <li>・竹林整備を来年度以降も実施してもらいたい。</li> <li>・シカの食害が深刻なので対策を取ってもらいたい。</li> </ul>

<p>伊豆市生きいきプラザ (伊豆市)</p>	<p>56 (12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこを事業で整備したか一般県民にはわからないので、PRに力を入れて欲しい。</li> <li>・竹林整備の2年目以降についても事業で補助してもらいたい。</li> <li>・シカの食害が拡大しており、対策をお願いしたい。</li> <li>尾根の植生を保全しないと、ワサビ田へ土砂が流出するとともに、生物多様性も失われてしまう。</li> <li>・標高が高いところでは、人工林を広葉樹林に転換するべきである。</li> <li>・10年かけて12,300haを整備してもらった。事業は継続してほしい。</li> <li>・技術力の継承のためには、事業継続が必要。</li> </ul>
<p>富士宮市役所 (富士宮市)</p>	<p>36 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放置竹林がかなり目立っている。</li> <li>・台風や雪害による倒木被害もまだまだ残っている。</li> <li>・竹林整備や倒木処理の予算を確保してもらいたい。</li> <li>・人工林の定性間伐を取り入れてもらいたい。</li> <li>・世界遺産登録の富士山に恥じない森林整備が必要だ。</li> <li>・生態系の保全や野生動物との共生に関する取組も必要</li> </ul>
<p>富士総合庁舎 (富士市)</p>	<p>28 (6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のことを知らなかったなので、もっとPRするべき。</li> <li>・税収に対して、富士市の実績は少ないと感じる。</li> <li>・伐採率や伐採方法を地域に合わせて柔軟に変更できないか。</li> <li>・NPO団体などの整備者の活動エリアの情報を周知すれば、更に事業を活用してもらえないか。</li> <li>・野生動物のすみかとなるよう人工林を広葉樹林に戻すことも必要だと思う。富士山の裾野の景観向上も期待できる。</li> <li>・このペースで荒廃森林の整備は間に合うのか。降雨による土砂流出や落石の頻度が増えたように感じる。</li> <li>・竹の利活用や、2年目以降の整備を検討してもらいたい。</li> </ul>
<p>静岡総合庁舎 (静岡市駿河区)</p>	<p>57 (12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションの場として活用できる森林づくりなどもできないだろうか。</li> <li>・税金の使われ方や事業効果をもっとPRすれば更に協力してくれる人が増えると思う。</li> <li>・施工現場を見学する機会を作ってはどうか。</li> <li>・整備したのはたったの5%で、残りは荒廃している。</li> <li>・県土を守る大義がある。必要な事業である。</li> <li>・台風等により河川沿いの倒木が流出するおそれがあり、対策が必要である。</li> <li>・雪害がひどく、どうやって手をつけてよいかわからない。</li> <li>・山村で山を守る若い人がいない。事業の継続を願う。</li> <li>・シカの被害への早急な対策をお願いしたい。</li> </ul>
<p>藁科生涯学習センター (静岡市葵区)</p>	<p>18 (9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地目が農地の竹林整備を、もう少し検討してもらいたい。</li> <li>・人間と動物が共存できる森林づくりを進めてほしい。</li> <li>・下流の都市部への事業説明やPRに力を入れるべき。</li> <li>・県民税がどのように使われているのか、超過課税なので他より優先度が高いなどの理由を具体的に説明するべき。</li> <li>・放置竹林が多くて困っている。周囲に住宅があり、災害の危険性を感じる。</li> </ul>

<p>東部生涯 学習セン ター (静岡市 葵区)</p>	<p>19 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない間に納めていた税金だが、相当の成果が出ていてよかった。もっとPRした方が良い。</li> <li>・下流に住んでいる者として、この事業で上流の森林整備が進むことをありがたく思う。</li> <li>・今年の台風18号では、大量の竹が山から流れてきて水路を閉塞した。</li> <li>・整備をしたいが、土地の境界が分からないので、整備に着手できずに困っている。</li> <li>・竹林整備をもっと進めてもらいたい。</li> <li>・後継者不足なので、森林を管理するためにも事業を継続してもらいたい。</li> <li>・この事業と森林環境教育を組み合わせたらどうか。</li> <li>・事業がなくなると井川地区の森林整備は進まない。雪害の対応も必要である。ぜひ、継続してほしい。</li> </ul>
<p>興津生涯 学習交流 館 (静岡市 清水区)</p>	<p>29 (9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備箇所はとてもきれいで、安心できる。</li> <li>・下流域の住民は事業の恩恵を実感しにくいのでPRをもっとするべき。</li> <li>・施策全体の中の森の力再生事業の位置付けをしっかりと説明すれば、もっと評価も高まるのでは。</li> <li>・林家は、今年で事業が終わってしまうことを危惧している。継続を望んでいる。</li> <li>・集中豪雨で山崩れの発生が増加しているので、この事業に期待している。</li> <li>・放置竹林が増えているので、補助対象の見直しも含め検討してほしい。</li> <li>・今までは、林業を通じ森林を整備してきたが、これからは環境の視点を加え、森林を守る必要がある。</li> </ul>
<p>川根文化 センター (島田市)</p>	<p>78 (9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林整備をもっと進めてもらいたいという要望が多い。</li> <li>・竹林は人家の周りに多く、土質から判断しても崩れやすい。住んでいる人は、怖いと感じる。</li> <li>・竹林整備の2年目以降についても事業で補助してもらいたい。</li> <li>・税額は400円で据え置きでいいので、末永く事業をやってもらいたい。</li> <li>・次の担い手のためにも、事業を継続してもらいたい。</li> <li>・PR活動に力を入れてもらいたい。</li> </ul>
<p>東益津公 民館 (焼津市)</p>	<p>62 (11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民税によるこの事業は大変有効である。</li> <li>・高草山は耕作放棄地も多く所有者も高齢なので、整備ができずに困っている。事業で対応できないか。</li> <li>・道路沿いの危険な竹林、広葉樹が多い。この整備により事業の理解度を高めることも必要である。</li> <li>・志太平野を潤す水は、上流の森林から生まれている。上流の荒廃森林対策のため、この事業を継続してほしい。</li> </ul>
<p>藤の瀬会 館 (藤枝市)</p>	<p>48 (8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する人工林を飲み込むほど放置竹林の勢いはすごいので、継続する際には対策を検討してもらいたい。</li> <li>・藤枝バイパスの宇津ノ谷トンネル、岡部トンネル間の竹林がひどい。</li> <li>・ゲリラ豪雨などの頻度も増えているので、事業を継続して森の力の回復を期待する。</li> </ul>

相良総合センター い〜ら (牧之原市)	13 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備を放棄された茶畑が森林になってしまい困っている。</li> <li>・竹林が繁茂しているが、事業の認知度が低く整備が進まない。</li> <li>・伐採した木や竹を有効活用してもらいたい。</li> <li>・環境教育に力を入れてもらいたい。</li> <li>・牧之原市は森林面積が少なく、県民税の恩恵が少ないように感じる。獣害対策や保安林管理など下流の課題に対応できないか。</li> </ul>
山村開発センター (川根本町)	37 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の森林整備の主要な事業に成長した。</li> <li>・事業により、成林して皆伐して植林する林業のサイクルを推進してほしい。</li> <li>・税を負担している人、都市部の人へ森林の大切さや事業効果についてPRをもっとするべきである。</li> <li>・整備効果データを示して説明すれば税額を上げることもできるのではないだろうか。</li> <li>・森林体験活動を事業に追加すれば理解度も高まるのでは。</li> <li>・多様な森林づくりは、多様な主体の参加が必要。林地残材を集めたり、指導林家を講師に招くための費用に使ったりと、メニューを拡充してもらいたい。</li> <li>・荒廃森林があちこちに散見するので、継続を望む。</li> </ul>
磐田市役所 豊岡支所 (磐田市)	15 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人家の裏山の危険な巨木の整理をこの事業でできないか。</li> <li>・農地に侵入している放置竹林の整備も一体的に進めたい。</li> <li>・県民税400円を払っていることは知らなかった。事業の効果をわかりやすく県民に伝えるべきである。</li> <li>・県はさらなるPRを進めていくべきである。</li> <li>・やっとな事業が地域に浸透してきたので、是非継続してほしい。特に竹林整備の予算が不足している。是非とも継続して、整備を進めていきたい。</li> <li>・県民共通の山を守る重要な事業なので、ぜひ継続してほしい。</li> </ul>
掛川市役所 (掛川市)	114 (12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手つかずの放置竹林が綺麗に整備された。</li> <li>・県民税を財源としているのだから、よりPRに力を入れるべき。</li> <li>・荒れた竹林から道路に土砂が流出した</li> <li>・整備にあたっては、貴重な動植物への配慮も必要。</li> <li>・伐採した木材や竹材の利活用を考えてもらいたい。</li> <li>・未来へ森林を引き継ぐためにも、人づくりが重要である。</li> <li>・荒廃森林の再生が進んできているのに、いま止めたら水泡に帰してしまう。</li> <li>・広大な人工林の整備、9年間で整備できる場所は限られている。整備が必要な箇所はまだまだある。継続をお願いしたい。</li> </ul>
袋井市総合センター (袋井市)	27 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林がどんどん拡大し、地区の半分は放置竹林で覆われている。竹林整備を重点的にお願いする。</li> <li>・地域で森林整備に取り組むためにも組織作りや技術的支援をお願いしたい。</li> <li>・シカの食害が酷いので、対策をお願いしたい。</li> <li>・限りある財源ですべてを整備していくのは難しい。人家周辺や道路沿いの危険な竹林や広葉樹の整備を主にしたらどうか。</li> <li>・今年の台風で今までなかった場所でも土砂が出た。</li> <li>・袋井市では、事業が本格化したのが遅かったで、必要なところはまだまだある。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の中で境界確定にも取り組めないか。</li> <li>・木材利用との一体的な整備が大事ではないか。</li> <li>・野生動物による農作物の被害が多い。広葉樹林に植え替えて、動物が山に住めるようにしたらよい。</li> </ul>
菊川市役所 (菊川市)	— (—)	<p>【台風により中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加を予定していた住民から要望書の提出を受け、6月18日に自治会役員と現地を確認済み。</li> </ul>
森町町民生活センター (森町)	32 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前とは比較にならないほどシカの被害が増えている。</li> <li>・住宅地に近い竹林や広葉樹林の荒廃が進んでいるように感じる。</li> <li>・山間部の観光資源としても荒廃森林の整備を進めるべき。</li> <li>・当初は強度間伐が受け入れられていなかったが、やっと事業効果も浸透してきて、整備が進むようになってきたので継続をお願いしたい。</li> <li>・まだまだ整備すべき所が多い。事業継続をお願いしたい。</li> </ul>
浜松総合庁舎 (浜松市中区)	35 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路沿いの竹林が台風で倒れたが、事業で整備し安心できるようになった。</li> <li>・整備してほしい声がある一方で、事業を知らない人も多く、PR不足だと感じる。</li> <li>・放置竹林には、小規模な公有地や農地が含まれているが、根絶するためには、一体的に整備する必要がある。</li> <li>・竹材の利活用を考えてもらいたい。</li> <li>・農山村が抱える問題は多く、すべてをこの事業で対応できる訳ではないが、この事業を元に、伐採した材の利活用や他事業との連携を県が助言し、波及効果を高める必要がある。</li> <li>・事業の効果を知ってもらうためにセミナーやバスツアーも効果的だと思う。</li> <li>・これまでの事業を無駄にしないためにも継続してほしい。</li> </ul>
浜北区役所 (浜松市浜北区)	18 (16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林を伐採することで景観が良くなり、地元の人が喜んでくれた。</li> <li>・森林整備について、街場の人は興味がない。都市の生活にも森林が影響を与えていることについてPRしたほうがよい。</li> <li>・自治体を積極的に活用し、森林所有者をとりまとめてはどうか。</li> <li>・人工林を天然林へ誘導することも検討してほしい。</li> </ul>
引佐健康文化センター (浜松市西区)	27 (14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の力再生事業は自然の力を活かした素晴らしい事業だと思う。</li> <li>・他県のように土砂災害危険区域を重点的に行うなどの考え方も必要</li> <li>・小中学校や幼稚園の周囲の竹林が荒廃している。森林だけでなく、子どもにも光を当ててほしい。</li> <li>・県民の認知度を上げるためにも、最終年度だけでなく、もっとタウンミーティングをやるべきではないか。</li> <li>・森の力再生事業をこれから実施していこうと盛り上がってきたときに最終年度となってしまった。ぜひ事業継続して欲しい。</li> </ul>



<p>北遠総合 庁舎 (浜松市 天竜区)</p>	<p>27 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模所有のため、採算が合わずに整備できない人が多いので、事業で整備することでとても感謝される。</li> <li>・針葉樹林だけでは彩りが乏しいので、広葉樹林へ転換していけないか。</li> <li>・採択条件の緩和や対象森林の拡大ができないか。</li> <li>・町を歩くと道路沿いに荒廃竹林が多くあり、恐怖を感じる。</li> <li>・荒廃森林の再生から次の生産につながるような取組みを地元から提案して、県が補助するような体制はとれないか。</li> <li>・地元から喜ばれているので、事業の継続を要望する。</li> </ul>
<p>湖西市民 会館 (湖西市)</p>	<p>17 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森が明るくなり防犯上も安心できると地元からも好評。</li> <li>・水源涵養や山地災害防止だけにとらわれず、防犯、景観といった面も重要な要因である。</li> <li>・湖西市でも放置されて荒廃した竹林が多い。</li> <li>・いまの制度から漏れている森林だけでなく新たに顕在化した荒廃森林もたくさんある。</li> <li>・浜名湖に注ぐ水は、上流森林と密接な関係があることから、事業の重要性を考えて事業継続をしてもらいたい。</li> <li>・命を守る事業であり、絶対必要な事業である。</li> <li>・10年と言わず、山を育てる視点で長期的に実施してほしい。</li> </ul>

# 未来への森づくりタウンミーティング会場アンケート（全 27 会場分）

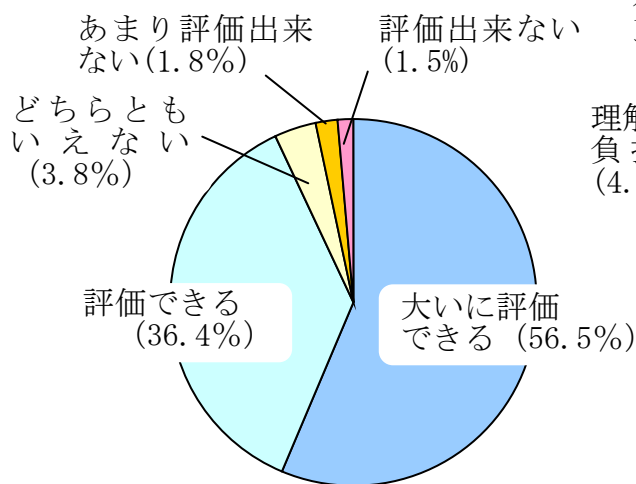
## 1 回答者数

875 人（27 会場分）

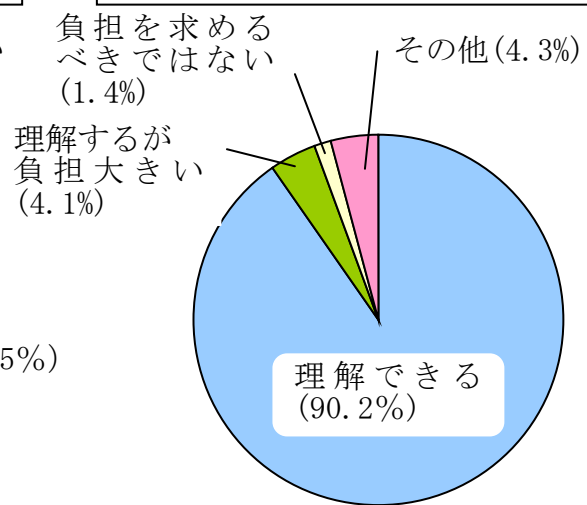
## 2 回答

- ・現事業の評価…大いに評価、評価（92.9%）
- ・現在の税負担…理解する（90.2%）
- ・荒廃森林の顕在化の認識…問題として認識している、聞いたことがある（98.0%）
- ・今後の事業のあり方…県が、引き続き荒廃森林の再生に取り組むべき（94.0%）

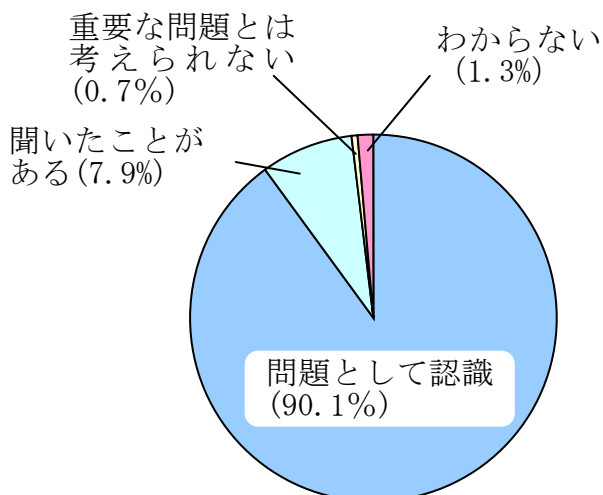
Q1 現事業の評価



Q2 現在の税負担



Q3 荒廃森林の顕在化の認識



Q4 今後の事業のあり方

